

ぜん息健康支援プログラムの概要

～発作のない生活を送るために～

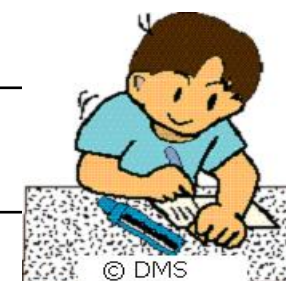
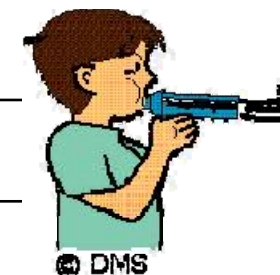
2009年7月4日

株式会社 ディー・エム・システムズ

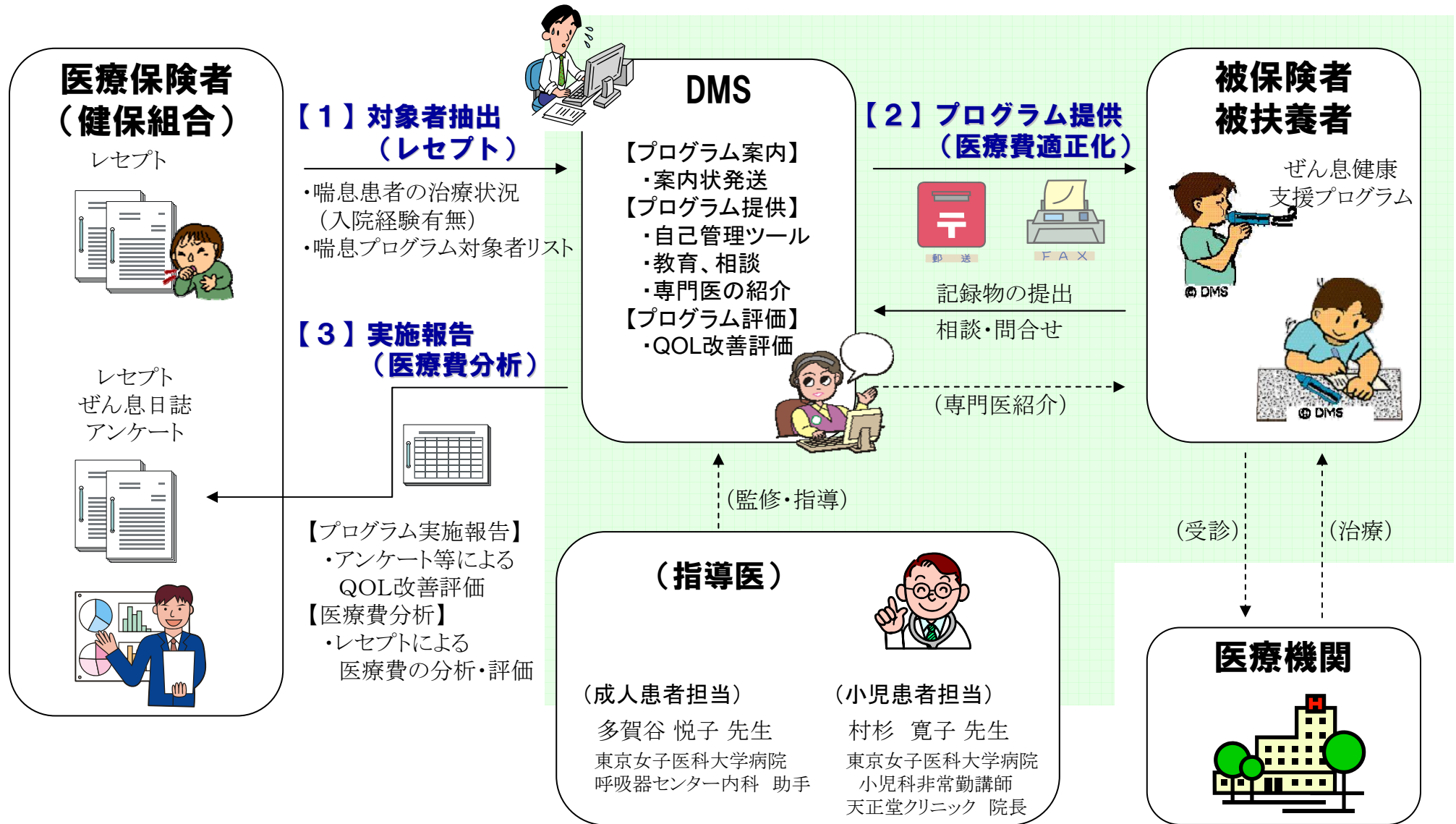
代表取締役社長 入江 真理

1 ぜん息健康支援プログラムの特長

取組むにあたって	ガイドラインの考え方に基づいて構成 <ul style="list-style-type: none"> ・喘息予防・管理ガイドライン ・小児気管支喘息治療・管理ガイドライン ・GINA:喘息管理国際指針(WHO)
内 容	①ぜんそくに関する正しい知識を持つための情報提供 ②ピークフローメーターを活用した自己管理方法のサポート
目 的	ぜんそく患者のQOLの向上+医療費の適正化(自己管理方法の習得)
方 法	郵送またはFAXを利用した自宅での取組み (e-mailでも一部対応可)
期 間	4～6か月間
時 期	<ul style="list-style-type: none"> ・秋から冬にかけて ・梅雨
対象者	ぜんそく治療中である満6歳(就学児)以上



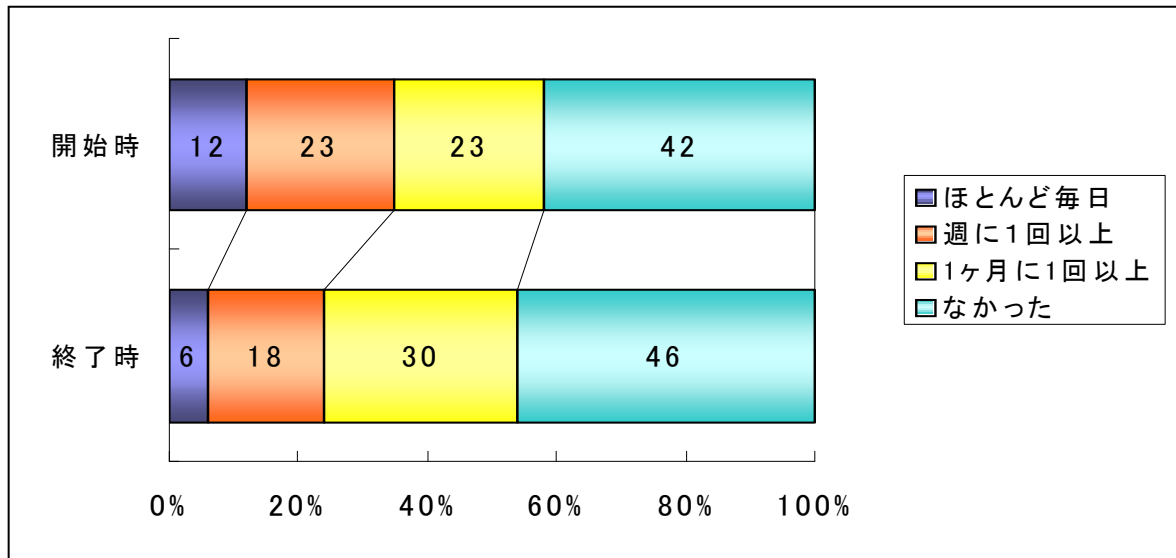
2 ぜん息健康支援プログラムの流れ



3 実績① アンケート集計結果より(主観的改善効果)

参加者アンケート調査結果*より、QOLの向上に貢献できたことが示唆されました

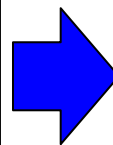
(1) 1ヶ月間の日中の症状(発作の頻度)について
(H16プログラム開始前・終了後アンケート結果*より)



* :平成16年度実施アンケートより

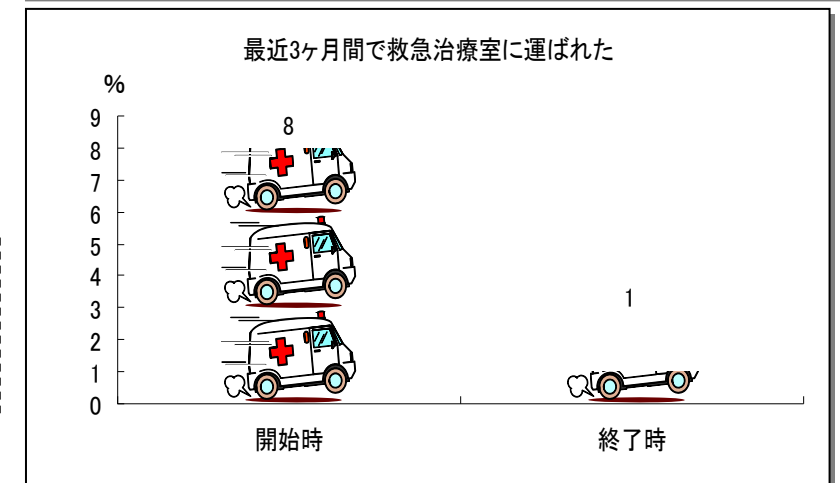
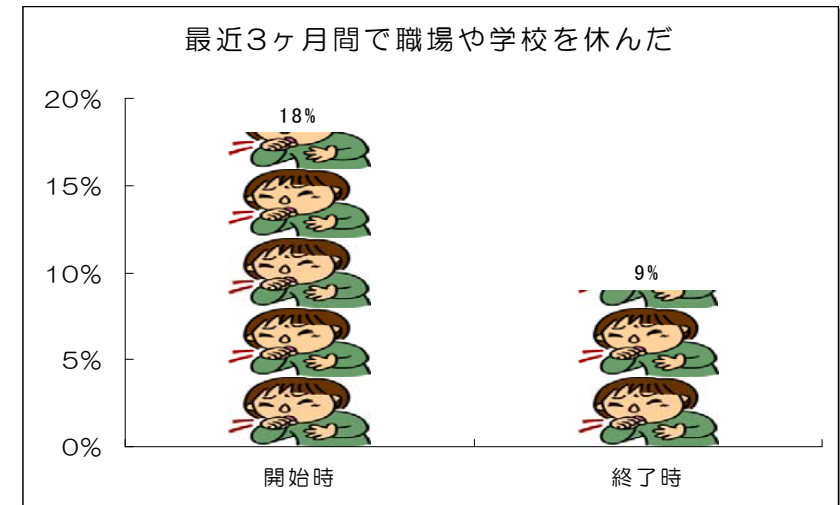
・アンケート回収数:84例

	開始時		終了後	
(1) ほとんど毎日	12%	35%	6%	24%
(2) 1週間に1~3回	23%		18%	
(3) 1ヶ月に1~2回	23%		30%	
(4) なかった	42%		46%	



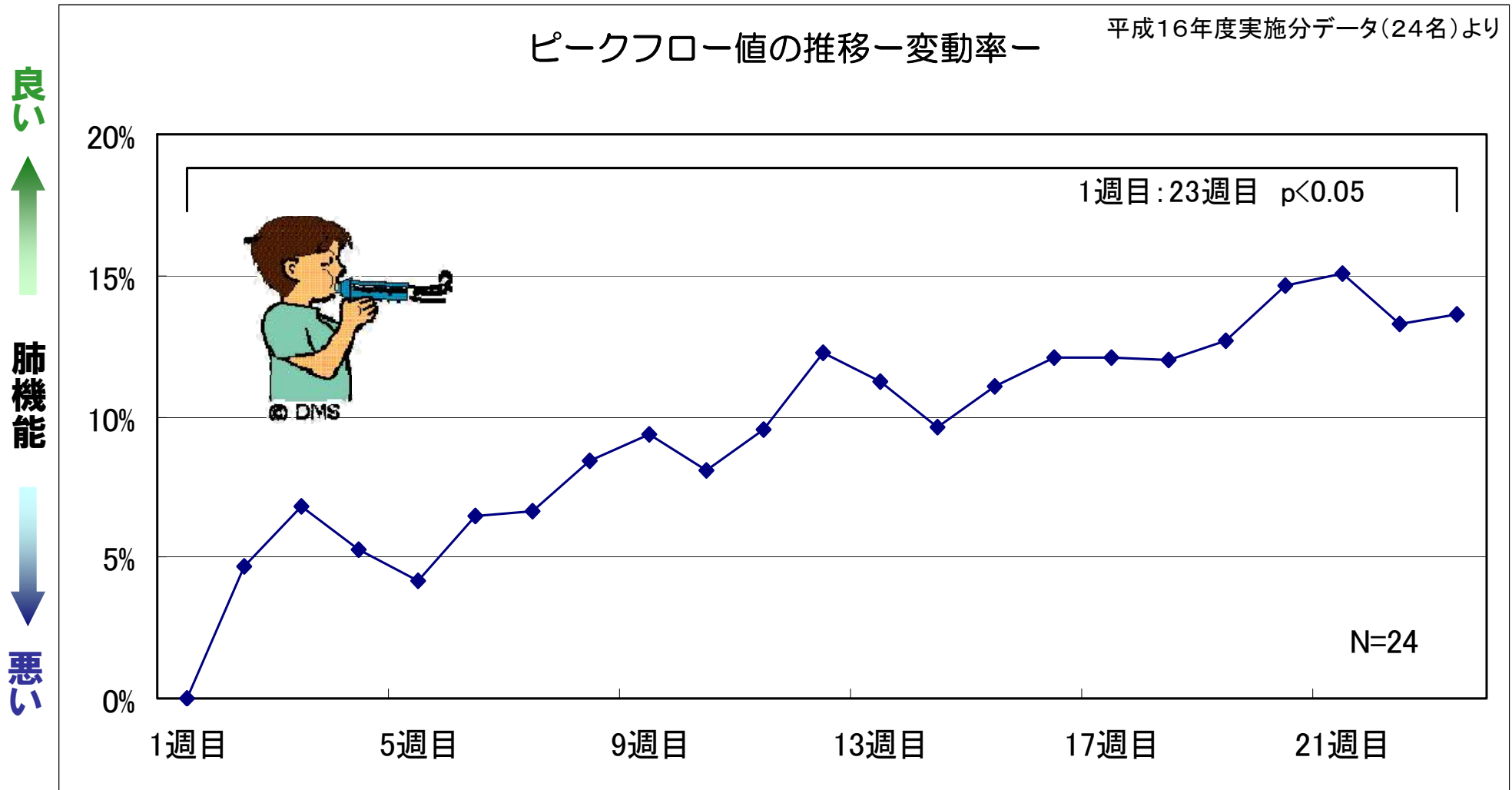
週に1回以上発作がある人の比率が、開始時35%から24%と約10%減少

(2) 最近3ヶ月間の状態について



3 実績②ピークフロー日誌より（客観的改善効果）

1週間毎の平均値の比較(プログラム開始週を基準とした変動率)した結果、徐々にピークフロー平均値が上昇し、プログラム開始23週目には、約15%の上昇が見られた



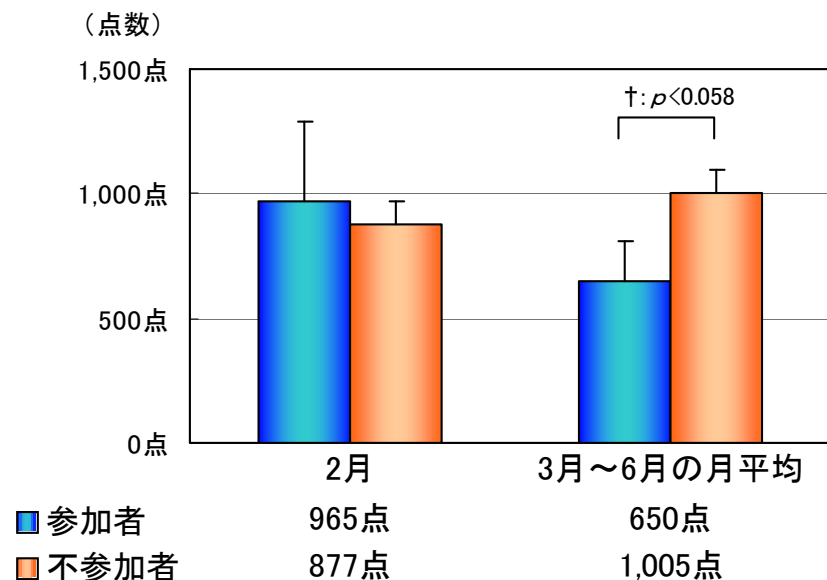
3 実績③レセプト分析結果1(平成15年度 A健保)

参加者(24名)と不参加者(64名)での医療費分析・比較した結果、
プログラムに参加することで、医療費の適正化に貢献できることが示唆された

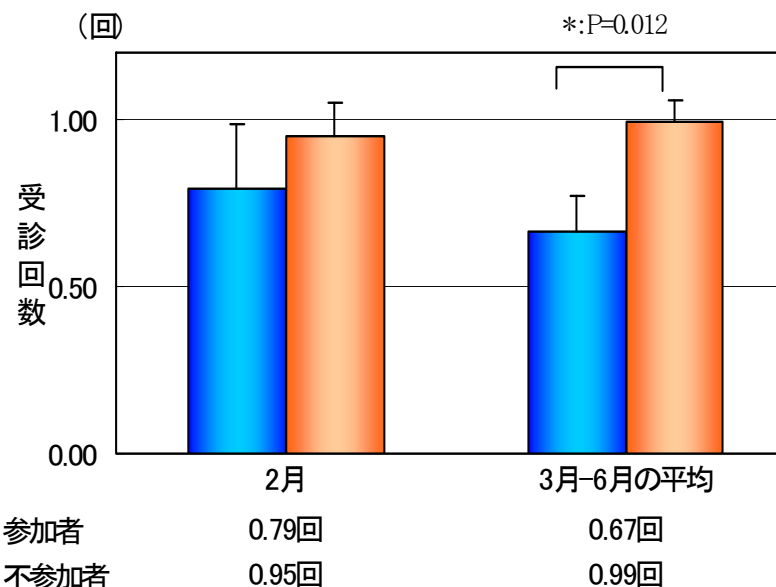


医療費適正化事例-1 (平成15年度実施 A健康保険組合)

プログラム開始時と開始後の月平均医療費の変化



プログラム開始時と開始後の月平均の受診回数変化



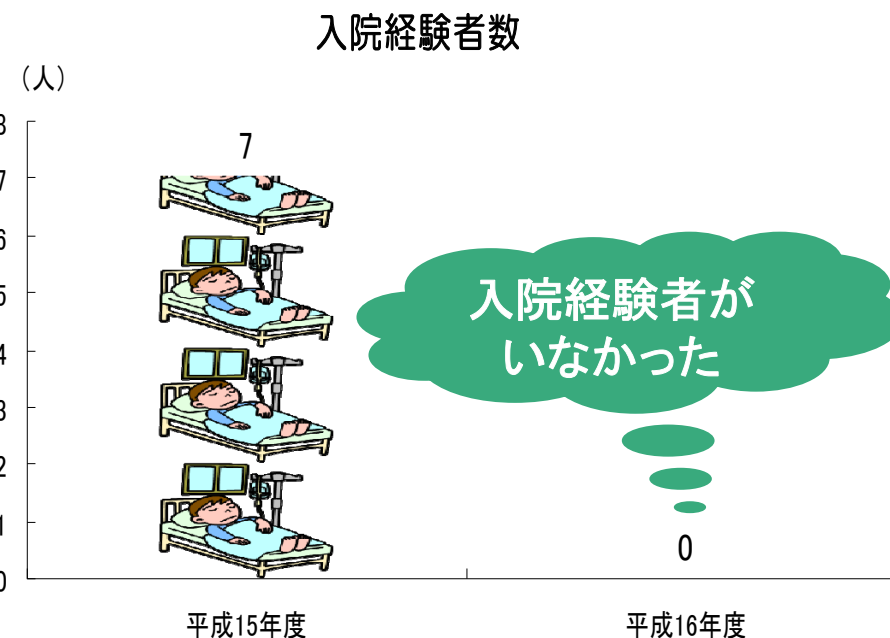
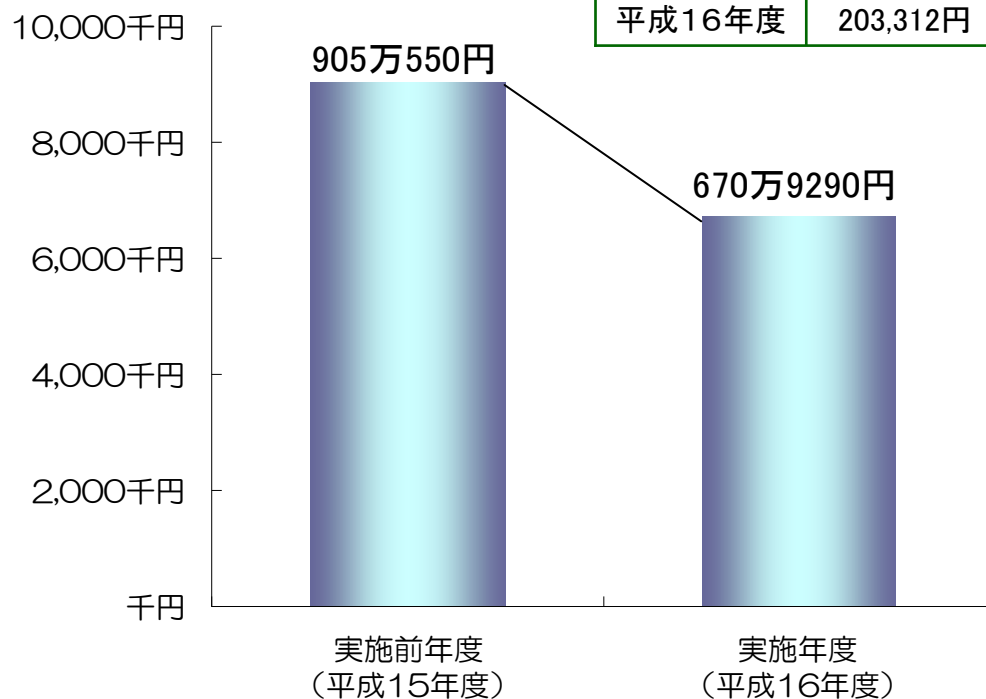
3 実績④レセプト分析結果2(平成16年度 B健保)

平成16年に実施したB健康保険組合における参加者(33名)の医療費分析の結果、プログラム参加者の医療費の適正化に貢献できることが示唆されました。

医療費適正化事例-2 (平成16年度実施 B健康保険組合)



年間医療費の推移/人	
平成15年度	274,259円
平成16年度	203,312円



(参考)
本集計に関しては、対照群の調査を行っておりません。

4 アンケート・フリーコメントより（参加者の声）

参加者の声：52歳・女性

初めて「ぜんそく」と向き合いました。「ぜんそくはコントロールできる！」を支えに、とにかく4ヶ月間やってみようど…
季節柄ひどくなる時期を、わりと楽にのり切れたことで、とても自信ができました。現在では、ぜんそくの症状もずいぶん改善しました。あきらめないこと、きちんとした指導を受けることが大切だと実感しました。

参加者の声：7歳・男児の保護者

日誌の提出がなまけてしまったこともありましたが、ピークフロー自体は毎日欠かさず使い測定しました。ピークフロー日誌のお陰で、主治医の指示により薬の増減に役立っております。
これからも続けたいですし、プログラムがあればまた参加したいと思います。ありがとうございました。

参加者の声：60歳・女性

健康保険組合の被保険者でよかったです。専門医のご案内ありがとうございました。早速、リストにありました先生に診てもらいました。とてもいい先生で本当に安心しました。事務局の対応に感謝しています。
健康で幸せな60代の人生を送れるよう努力いたします。ありがとうございました。

参加者の声：10歳・男児の保護者

このプログラムに参加してから主治医と相談して薬を減らすことができました。ピークフローメーターの値も、最初の頃とは比べものにならないくらい、数値が上がり、調子が良いと一目で分かるようになりました。
このグラフやピークフローがあるお陰で、何か安心感が持てるようになりました。

参加者の声：55歳・男性

自己管理の方法がわかるようになり、お陰でぜんそくの改善につながりありがとうございました。
現在も呼吸器科・耳鼻咽喉科に通院していますが、先生も良くなってぜんそくではない人と同じような状態に近づいてきているとのことでした。

参加者の声：7歳・女児の保護者

取組まではぜんそくに対して軽く考えていましたが、早めに治療した方が良いということを知りました。薬が苦手だったので、薬を飲むところから始まりましたが、今では、ほとんど咳も出なくなり、マラソンもできるようになりました。
これからも、調子がよいからといって油断せずいきたいと思えます。